

現状を知り考えるきっかけに

市役所や図書館、学校といった公共施設は、市内に163施設(平成27年3月末現在)。建物は年々老朽化が進み、10年後にはその約60%が一斉に修繕・建て替えの時期を迎えて、膨大な費用が必要となります。

市では、今後こういった現状や課題を幅広い世代に伝えるため、地元にある池新田高等学校と協力し、「漫画」という手法を用いてパンフレットを作成しました。

完成した漫画は、女子高生が未来から来た若者と出会い、現状のままでは30年後、市内の公園や公民館などが荒廃してしまうと知らされ、人口減少や少子高齢化が進む中で公共施設の在り方を考えるという物語。市が抱える難しい問題について、誰にでも分かりやすいように描かれています。



▶作業風景



▲漫画版パンフレットを作成してくれた高校生たちは、最初の取り組みとして公共施設の改善点をグループに分かれて話し合いました。



幅広い世代に読んでほしい

公共施設は、学習や交流、手続きの場として、皆さんの生活を支える大切な役割を担っています。普段から使用している施設でも、いつ建てられ、修繕が必要なのかといった現状は、あまり知られていません。今回完成した漫画は、地元の高校生が協力してくれたおかげで、公共施設をより身近に感じられる内容になっています。

漫画は、幼い子どもから大人まで多くの人に親しまれているので、より多くの人に読んでもらい、少しでも公共施設について知ってもらいたいです。この漫画版パンフレットは、町内会を通して世帯へ配布し、市ホームページや市立図書館でも読むことができるので、ぜひページをめくってみてください。



財政課
阿形真太郎 主事

本編はコチラ! ➡

御前崎市 公共施設 漫画

検索 🔍